



# 枕崎市立 桜山中学校

生徒数 76 人  
学級数 5 クラス



《テーマ》

**互いに学び合い よく考え 自ら行動できる生徒の育成を目指して**

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究の実際
本校では、一人一人が人権を尊ぶ心、寛容な心、思いやりの心等、豊かな人間性を育む教育の推進に努め、自己有用感、達成感を味わい、生き生きと活動する生徒の育成を目指し、本テーマを設定した。	4月10日 いじめ問題を考える週間（～14日） 10月20日 生徒向け人権教室 11月27日 職員研修「人権同和教育」 12月8日 保護者向け人権教室 12月9日 生徒向け人権教室 「協力隊OBと留学生が先生事業」 2月22日 生徒向けアンケート実施

## 特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

### □ 生徒向け人権教室「自分を守る権利について知ろう～自分も大切 あなたも大切～」

本プロジェクトの一環として、生徒向けの人権教室を実施した。どのような権利があるかや、差別の実態等について学び、生徒は学習を通して、自分や相手を大事にすることの大切さや、自己肯定感や自己有用感を高めることができた。



### □ 保護者向け人権教室

「みんなで進める人権教育～自分も大切 あなたも大切～」

P T A 全体会の中で、保護者を対象に人権教室を実施した。「児童の権利に関する条約」や、子どもが自尊感情を育むための家庭や地域の関わり方、子どもと向き合うときに大切にしたいことなどについて学ぶ機会となった。



### □ 協力隊OBと留学生が先生事業 ～見える・学べる・世界の国々～

人権週間中の12月9日に、JICA海外協力隊員としてグアテマラへの派遣経験がある方と、エジプトからの留学生の2人が講話を行った。協力隊OB、留学生の話を通して、異文化について知り、多様な考え方を身に付けられる良い機会となった。



## 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 人権教室を通して、生徒が人権に関して興味をもち、人権についてもっと知りたいという生徒や、相手のことを大切にしたいと考える生徒が増えた。
- 協力隊OBや留学生の話を通して、異文化についての理解を深めるとともに、自分の国や文化についても改めて考える良い機会となった。
- 昨年度に比べ、体育大会や文化祭等の学校行事の後に、生徒が自らの取組に自信をもち、達成感を味わったり、自己有用感を高めたりすることができた。
- 人権について興味をもった生徒が増えたことで、弁論大会や夏季休業の課題の作文で、人権をテーマにした文章を書く生徒が多くなった。
- 今後も、道徳の授業や人権尊重の視点に立った授業等を通して、学校全体の人権教育を充実させたい。